

○第2回ワーキング会議の意見等まとめ

資料2

【本人用調査票関連】

発言者	発言内容等	対応	問
酒井委員	情報通信機器を使いテレワークされている方がどの程度おられるのか把握する観点から、選択肢に「テレワークをする」を追加していただきたい。	選択肢8に「テレワークをする」を追記しました。	問37

【事業者用調査票関連】

発言者	発言内容等	対応	問
三田委員	() ・ という表記では、何をどこに書くように求められているかが一目でわからないため、答えづらい気がしますので再検討をお願いします。	参考資料3により整理を行いました。	問5
山内委員	出来れば結構ですので、短期入所の選択肢があり、何か実情を把握できるような質問ができるのか検討をお願いします。	入所施設管理者用調査票の設問を参考に問6に設問を新設しました。	問6
芦田委員	地域とどう連携していくのが非常に重要と考えますので、「地域の防災訓練に参加している」や「地域の避難所を確認している」等の地域情報を選択肢に加えることが必要ではないかと思います。	問24①に地元住民との連携に係る選択肢を新設しました。	問24①

発言者	発言内容等	対応	問
山内委員	従事者がホテル等への自主避難所というものが必要であったという経験から、選択肢の記載の5項目以外にもあるのではないかと考えており、選択肢6に「その他（）」を追加のご検討をお願いします。 ○を付ける個数について、理由次第ですが、1つだけではなく、複数でも良いのではないかと思います。		
三田委員	優先度より困り度を調査する必要があるため、全部に○がついた場合、それが実態ではないかと思います。	支援を継続するうえで必要と考えるものを調査する設問に改めました。	問26
芦田委員	問26の支援を継続するものと問25の困りごとが重複しごっちゃになっている感じがします。		
井上委員	設問の追加は、虐待と災害だけですが、国では質の向上ということで、虐待とハラスメントの問題と、もう一つは事業ガイドラインの徹底を事業者の課題にしていくことが示されていますが、今回の調査でどの様に反映するのでしょうか。	問28にハラスメントに関する設問を、問29に質の向上に関する設問を新設しました。	問28・29

【入所施設管理者用調査票関連】

発言者	発言内容等	対応	問
井上委員	選択肢11の「意欲喚起」や「意識付け」という表現は好ましくなく、カッコの「地域生活に関するイメージづくりなど」の方が良いと思います。	選択肢11の選択肢を「地域生活に関するイメージづくりなど」に改めました。	問25
山内委員	出来ればもっと利用したいが、数が少なく希望に沿えないといったような実態もあるため、「課題があると感じていることについて」の前に、「その内容や」を追記した方が具体的な実態が把握できると思います。	具体的な実態を把握するため、回答が想定される選択肢による選択肢方式に改めました。	問26②